

# 大学院の紹介

(独立研究科・専門職大学院)

学部時代に身につけた知識や技能をさらに深化・高度化し、次代を担う研究者、実務者をめざして学びます

京都大学の卒業生たちは、「自由の学風」によって培われた知性、感性、倫理性をいかし、社会に貢献することが期待されています。学部卒業後の進路選択として、就職や大学院への進学などが考えられますが、大学院を充実させた「研究型大学」の京都大学では、大学院への進学率が高い傾向にあります。年度によって異なりますが、例年は約55～60パーセントの卒業生が大学院に進学しています。



<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/>

学部を卒業後、学部で身につけた知識・教養・技能を深めることをめざす学生は、大学院進学を選びます。大学院の標準修業年限は、「博士前期課程(修士課程)」の2年間、つづく「博士後期課程(博士課程)」の3年間(課程区分を設けない一貫制博士課程は5年間)です。この間に定められた単位を修得し、必要な研究指導を受け、研究論文の審査と最終試験に合格すれば、「修士」もしくは「博士」の学位が授与されます。

また、「飛び級制度」を認めている大学院では、学部時代に指定の単位を優れた成績で取得した者(学部在籍3年以上)に入学を認めるとともに、標準修業年数に満たなくても、学位を授与する場合があります。大学院の選択にあたっては、学部と関連した大学院に進学することが多いのですが、異なる分野の大学院を選ぶことも可能です。一般的に大学院には多種多様なバックグラウンドをもつ学生が多く集まる傾向にあります。

## 学部をもつ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院につながっています<sup>\*</sup>。学士課程(学部)の教育と連続し、高度な研究と教育を推進しています。学部をもつ大学院についての情報は、6ページから49ページの各学部紹介内に掲載しています。

## 独立研究科

京都大学には学部をもたない大学院課程、「独立研究科」が6つあります。いずれの研究科も多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼とした大学院教育を展開しています。

## 専門職大学院

高度で専門的な職業能力をもつ実務家を養成する大学院です。現場で活躍するスペシャリストなどを専任教員として迎えるなど、複雑な問題を解決するための知識・技能の獲得をめざした教育を推進します。京都大学では、4つの専門職大学院を設置しています。

<sup>\*</sup>大学院重点化が行われた現在は、正確には、大学院が主たる組織であり、大学院が学部教育を提供します。

## 独立研究科

### エネルギー科学研究科

専攻 ▶ エネルギー社会・環境科学専攻/エネルギー基礎科学専攻/エネルギー変換科学専攻/エネルギー応用科学専攻  
対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部/経済学部/理学部/工学部/農学部

#### 理工系に人文社会系の視点を 取り込みつつエネルギー問題解決 のための新学際領域を確立

エネルギー科学研究科は、エネルギー・環境に関連する様々な課題を克服するために、工学、理学、農学、経済学、法学などの多岐にわたる学問領域を結集して、「理工系に人文社会系の視点を取り込みつつ、学際領域としてエネルギー科学の学理の確立をはかり、地球社会の調和ある共存に寄与する国際的視野と高度な専門能力をもつ人材を育成する」という理念を掲げ、平成8年に創設されました。以来、CO<sub>2</sub>ゼロエミッションを目指した取り組みを進めるとともに、カーボンニュ

ートラル社会に適応するエネルギーシステムの構築に向けて、それを支える基盤技術開発研究から、その導入を図るための経済や政策、教育といった社会的側面からの研究に至るまで、国際的な視野に立った最先端の研究を行いつつ、将来この分野で中心的な役割を演ずる人材の育成に努めています。

本研究科は、エネルギー社会・環境科学、エネルギー基礎科学、エネルギー変換科学、エネルギー応用科学の4つの専攻から成り、エネルギー理工学研究所、複合原子力科学研究所、人間・環境学研究所の協力のもとに、基幹講座22分野、協力講座17分野で構成されています。さらに、国際化推進を支援する組織として、国際先端エネルギー科学研究教育センターを設置しています。また、英語のみで修士・博士の学位が取得で



エネルギー科学研究科棟と上に設置されたソーラーパネル

きる国際エネルギー科学コースや、海外の大学と提携し二つの学位を同時に取得できるダブル・ディグリー制度を設けるなど、研究のみならず教育においても国際化を推進しています。

## アジア・アフリカ地域研究研究科

専攻 ▶ 東南アジア地域研究専攻 / アフリカ地域研究専攻 / グローバル地域研究専攻  
 対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部 / 文学部 / 教育学部 / 法学部 / 理学部 / 医学部 / 農学部など

### アジア・アフリカ地域を総合的に理解できる専門家を目指す皆さんへ

現在、世界では環境問題や南北問題など、人類が総力をあげて解決に当たらなければならない多くの問題が出現する一方で、世界各地で新たな民族主義や地域主義、自国優先主義が台頭しつつあります。それらが民族紛争、近代化と伝統文化との矛盾の激化としてあらわれているにもかかわらず、世界はいまだ地域と世界の共存のパラダイムを見いだしていません。

こういった諸問題は第三世界、なかでもアジア・アフリカ地域に顕著です。この地域は、低緯度熱帯地域で自生的な地域形成を遂げてきた歴史をもちますが、現在大きな転換点にさしかかっています。アジア・アフリ

カ地域の動向は、21世紀の世界秩序を左右する影響力を秘めているのです。

このような状況の中で、私たちは地球社会の構成員としての役割を果たすために、真に持続可能な地球社会の発展の方向性を打ち出し、アジア・アフリカ地域の自立と共存を可能にする新たな世界秩序の構築に向けて、社会的、学術的に貢献していかねばなりません。そのためには、既存の学問分野の枠組を超えた学際的・総合的な地域研究の推進が必要です。

このような社会的、学術的な要請に応えるために、本研究科では5年一貫制の博士課程のもとで、長期にわたるフィールドワークを根幹の方法とし、アジア・アフリカ地域の生態・社会・文化の相互関係を総合的に把握しうる地域研究・教育を推進します。同時に、国際



協力などの仕事に実務的に対応できる人材の養成をも射程に入れており、必要に応じて修士学位を授与する制度を併用しています。

## 情報学研究科

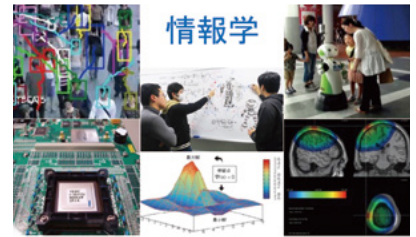
コース ▶ 知能情報学 / 社会情報学 / 先端数理科学 / 数理工学 / システム科学 / 通信情報システム / データ科学  
 対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部 / 文学部 / 経済学部 / 理学部 / 工学部 / 農学部など

### AI、ICT、ビッグデータ、データサイエンス、数理

現在と約20年前を比較して、社会や生活における最も大きな違いは何でしょうか。おそらく、ほとんどの人がスマホとSNSを(かなりの時間)使用していることではないでしょうか。このように高度情報社会が予想を上回るペースで実現されました。情報は、産業や科学においても大きな変化を引き起こしています。現在、第4次産業革命が進行しているといわれています。様々な自然・社会現象やモノの生産・流通過程がデータ化され、人々の検索・購買・移動などの行動データとともに大規模に蓄積され、AIによる最適化が行われていま

す。また、科学における第4のパラダイムとして、データを集積してモデルを構築する方法論が、医学・薬学・工学・農学などの自然科学だけでなく、経済学や言語学などの人文・社会科学を含む様々な分野に適用されています。このように、情報は今や産業や科学の基盤となりつつあります。

このような情報の学際的な広がりを視野に入れて、情報学研究科は1998年に設置されました。AIやICTなどの基盤技術はもちろん、数理・データサイエンスなどの理論、社会や産業における実装など、広範な領域をカバーしています。大学院修士課程では毎年約200名もの学生を受け入れています。実際に、様々なバックグラウンド(出身学部・大学・国)の方が集まって、未来の



情報社会を描きながら、熱心に学業や研究に取り組んでいます。そして修了後は、データサイエンティスト・AI人材・高度ICT人材などとして、情報通信分野に限らず様々な分野の企業や研究機関などで活躍しています。

## 生命科学研究科

専攻 ▶ 統合生命科学専攻 / 高次生命科学専攻  
 対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部 / 理学部 / 医学部 / 薬学部 / 工学部 / 農学部

### 生命科学研究の知によって豊かな未来を拓く

1999年に日本初の「生命科学研究科」に集まったのは、理学・農学・医学・薬学・工学など異なる背景をもつ研究者達でした。「生命とは何か」の共通命題のもと、様々な生命現象を対象に、モデル生物や非モデル生物を用いて遺伝子・細胞レベルで研究を行ってきました。これまでに、染色体分配、細胞内シグナル伝達、染色体末端テロメア、植物における有性生殖、また、がん細胞の増殖制御などのテーマにおいて優れた成果を発信してきました。それまでの統合生命科学専攻と高次生命科学専攻に加え、2018年には放射線生物研究センターと

生命動態研究センターを、2020年には産学協同講座を設置し、教育研究拠点の拡充と研究成果の社会実装を促進してきました。さらに、2023年にはゲノム情報や細胞内可視化情報などビッグデータを利用した生命情報ネットワークや、細胞外の栄養や物理環境の変動に応じた生命の生存戦略の理解に取り組むべく、生命動態研究センターを発展的に改組し、生命情報解析教育センター(CeLiSIS)を設立しました。英語で提供される科目のみで修了必要単位の修得も可能であり、海外派遣の補助や留学中の単位認定プログラム、海外



第14回京都大学優秀女性研究者奨励賞(学生部門)を受賞

大学との同時配信講義など、世界レベルの先端的教育研究を推進しています。

## 総合生存学館(思修館)

専攻 ▶ 総合生存学専攻

対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部/文学部/教育学部/法学部/経済学部/理学部/医学部/薬学部/工学部/農学部

### 分野横断・俯瞰的視野で地球規模課題を解決する創造的人材の育成

私たちが生きる地球社会は、多様でグローバルな複合的・構造的な課題に直面しており、解決のためには持続可能で創発力のある社会システムが不可欠です。そして、この新たな社会システム構築に向けてリーダーシップを発揮できる人材、ゼロから1を生み出し、実践・持続させていける力を持つ人材の育成が、今、求められています。総合生存学館は、こうした複合的課題を克服するための思想・政策や方法を幅広く探求する学問である「総合生存学」を構築し、これを修め社会の要請に応える未来のリーダーを育成する目的で設立された大学院です。

人類社会の生存と未来開拓を担う各界の世界的リーダーには、多様な価値観、広い世界観と見識、確かな哲学と高い志、それらに基づく柔軟な思考が求められます。総合生存学館では、こうした素養を養うために、専門的知識に加え、総合知の観点から文理融合能力及び俯瞰力を培い、複合的課題の解決方法を研究し実践する能力を育成します。

実践的観点を重視するため、机上ではなくその問題が起きている現場に即して課題解決情報を創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざします。そのため、文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。さらに、サービスマンや海外武者修行などの国内外の社会実践で得られた



経験知をモデル化して修得し、人類や社会システム、地球社会における今日的な問題の本質を理解して解決するグローバルリーダーとなる人材を育成します。

## 地球環境学舎

専攻 ▶ 地球環境学専攻/環境マネジメント専攻

対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部/文学部/法学部/経済学部/理学部/工学部/農学部

### 工学・農学・社会学等学際的な研究と学びによる、地球・地域環境問題への解決に向けて

地球環境問題は、人類が「豊かさ」と「利便性」を追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄社会を生み出した結果、地球気候変動、オゾン層破壊、水質汚染、土壌・地下水汚染、廃棄物問題等、20世紀社会が解決できずに21世紀に受け継いだ人類の課題です。地球環境学舎は、「環境の世紀」と呼ばれる21世紀の始まりにふさわしい大学院として発足し、2022年で20周年を迎えました。「持続的な地球環境とそれを支える人間社会の構築を導く新たな文明理念と科学技術知を追求する学を構築し、そのような地球環境を現実のものとする人材育成を目的とする。」という基本理念を

実現するため、発足以来、学際的な研究と学びの下、国内外での長期インターンシップやフィールド実習などによる課題抽出・解決型プログラムを中心とした分野横断的なカリキュラム、先端性、社会性を持った安定的研究指導により、環境関連の実務者、研究者としての能力を涵養してきました。

地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視しており、外国人留学生も多く、修了時には日本人学生のほとんどが本大学院での学修により国際性が身についたと回答しており、本大学院の取組は一定の成果をあげていると考えています。



責任感と倫理性を兼ね備えた多くの人材を輩出し、その多くは国内外の大学や研究機関、公務員や多くの民間企業、NPOで活躍しています。

地球環境学舎で共に学び、世界をリードする人材として活躍を目指される皆さんの入学をお待ちしています。

## 専門職大学院

### 医学研究科 社会健康医学系専攻

対応する主な出身学部(一例) ▶ 医歯薬、理工系、人文・社会科学系等あらゆる分野の人材が求められています。

#### 医学と社会をつなぐ知の拠点

##### —— Public Healthの世界へようこそ

超少子・超高齢社会、格差拡大、環境問題、災害、パンデミックと、パブリックヘルス(公衆衛生、社会医学)の社会におけるニーズは、今後さらに高まっています。しかもコロナ禍の中、パブリックヘルスの重要性が再認識され、ポストコロナの時代変革へ向けて従来のパラダイムをリセットし、新たなプロセスや社会を作っていく気運が高まっていくでしょう。

社会健康医学系専攻(いわゆる、京大SPH)は、日本初の公衆衛生大学院として2000年に開設され、多くのMPH(Master of Public Health)、博士(社会

健康医学)、博士(医学)を輩出し研究や実践で大きな成果を挙げパブリックヘルスをリードしてきています。

京大SPHは、世界を舞台に、自由とフロンティア精神をもって、個々人がその意思と特性を礎に、自らの力を伸ばし存分に力を発揮できるよう、学びあい高めあう絶好の場となっています。貴重な人的ネットワークが育まれ、将来に展開していきます。

パブリックヘルスは、必ずや、社会的ニーズが益々拡大し重要化していく領域です。皆様には、京大SPH



のポテンシャルを再認識してこの貴重な場を活用し、益々の飛躍を遂げていただきたいと思います。

## 法学研究科 法曹養成専攻(法科大学院)

対応する出身学部 ▶ 全学部

### 自由で公正な社会の実現を担う 創造力のある法曹の養成を目指して

法科大学院(大学院法学研究科法曹養成専攻)は、自由で公正な社会の実現のため、様々な分野で指導的な役割を果たす創造力ある法曹を養成することを目的として、平成16(2004)年4月に開設されました。本法科大学院では、この目標を実現するため、優れた研究者教員と練達の実務家教員が学生の教育に全力で取り組んでいます。法学未修者向けの基本的な法律学の授業を始めとして、教員と学生の双方向の問答により理解を深める授業、法や社会の基礎理論や最先端の課題に取り組む授業等、学生のニーズに応えるカリキュラムを用意しています。これらを通じて、法曹として未

知の問題に遭遇したときに、適切な解決を自ら導く力、すなわち「自ら考える力」を養成しているのです。

こうした教育を受けて修了した皆さんは、法曹界においても、法曹のサービスを受ける社会の各方面からも、高い評価を受けています。

入学者選抜については、法学部からはもちろん、他学部で法学以外の学問分野を専攻された方や社会人経験のある方も広く受け入れるという方針を立てています。法学未修者を対象とする指導・支援体制も充実しており、勉強方法や進路の相談に応じる担任教員がいるほか、基本的な法文書作成演習、大学院博士後期課程の学生(法科大学院を修了した後、将来大学教員になるために研究をしている人たち)による学習サポート等があります。



法学未修者・既修者を問わず、ぜひ多くの方々に本法科大学院を志願していただき、「自ら考える力」をもつ優れた法曹への道を歩んでいただければと願っています。

## 公共政策教育部(公共政策大学院)

専攻 ▶ 公共政策専攻

対応する主な出身学部(一例) ▶ 総合人間学部/法学部/経済学部

### 的確な判断力、柔軟な思考力、 高い倫理観に基づき、 公共部門の課題に取り組む

公共政策大学院は、高度な教養と専門性を兼ね備えた職業人の育成を目指して、2006年4月に開設された専門職大学院です。1学年の定員は40人と小規模ですが、修了生の多くが国家公務員やマスメディアなど公共性の高い仕事に就いています。

多様な科目が開講されていることは、本大学院の大きな特徴です。社会を分析し考察する上での基礎となる科目、具体例に則した実践的な知識を提供する科目、幅広い視野と教養につながる原理的・歴史的知識を

涵養する科目、英語によるコミュニケーション能力の開発に資する科目などが、本大学院に所属する教員に加えて、法学研究科・経済学研究科に所属する教員をリードする教員や、行政官やジャーナリストなどの実務経験に富む教員により、ほぼすべて少人数科目として開講されています。

カリキュラムは、これらの科目を段階的に学べるよう構成されています。まず、1年次の学生は基礎的・原理的な科目を中心に履修します。その後2年次に進級する際に、自らの関心や志望進路に従い「政策(政策分析・評価)」「行政(行政組織間交渉)」「地球(地球共生)」という3つのクラスター(科目群)を選択し、主にそのクラスターに属する専門性の高い科目を体系的に履修しつつ、事例研究やインターンシップを通じて実務能力



を磨きます。

また、学生の自主的な活動を尊重する雰囲気が高く、それを支える仕組みが整っていることも、本大学院の個性を作り出しています。

## 経営管理教育部(経営管理大学院)

専攻 ▶ 経営管理専攻(専門職学位課程)/経営科学専攻(博士後期課程)

対応する主な出身学部(一例) ▶ 経済学部/工学部

### ビジネスを主体的に 実践する能力を養成

「MBA」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。Master of Business Administrationの略で、日本語では経営学修士(専門職)と呼んでいます。「経営学」や「マネジメント」など、ビジネスに関連する分野において、高度に専門的な内容を学ぶことで授与される、他の大学院の修士に相当する学位です。

京都大学経営管理大学院は、このMBAを取得できる専門職大学院として、2006年4月に開設されました。京都大学における「ビジネススクール」だと考えていただければと思います。

本大学院は、京都大学の自由の学風のもと、幅広い

専門分野の教員によって、グローバルに活躍することのできるビジネスリーダーやプロジェクトマネージャーを育成していきます。

MBA/専門職学位課程では、日本語プログラム群と、英語のみで修了できる国際プログラム群、さらには京都大学と米国のコーネル大学で1年間ずつ学ぶことのできる京都大学-コーネル大学国際連携コースを用意しています。

また、本大学院にはPh.D./博士後期課程も設置しています。ここでは、企業などで高度な経験を積み、その経験を通して経営に関する問題意識を持った人を受け入れ、実務に根ざした研究を推進しています。

様々な意味で歴史的転換点にある今日、本大学院の提供する内容を学んだ人材の必要性は、ますます高まっ



ているといえます。本大学院は、人種、性別、国籍にかかわらず、高い志をもった人々が切磋琢磨し、社会に貢献できる人材として成長する場を提供していきます。

# 海外留学・国際交流

多様な海外留学プログラムと奨学金制度を通して学びを深める学生たちを応援します

京都大学は現在、39か国・地域にひろがる約150校と大学間学生交流協定を締結しています。

京都大学では進展しつづける社会の国際化に対応し、グローバルに活躍する人材を育むために、多様な海外留学プログラムを用意しています。

実践的な外国語運用能力を身につけることはもちろん、幅広い視野・視点や多様な思考力を養う機会となる海外留学は、学生の間に取り組んでおきたいことのひとつです。



<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3>

## ▶ 150の学生交流協定校への交換留学

京都大学は現在、39か国・地域に広がる約150校と大学間学生交流協定を締結しています。学生たちは、京都大学に在籍しながら1学期から1年間、海外の大学(学生交流協定校)に留学することができます。留学中は協定校の科目を履修することで単位を取得することができ、また、研究に関する指導を受けられることもあります。留学先で取得した単位を本学で取得した単位として認める制度もあります。

### ■ 学内募集

毎年2月(一次募集)と7月(二次募集)に実施します。協定校への出願手続きは京都大学を通じて行い、留学先の授業料は免除されます。多くの協定校は、留学先の学習・研究で使用する言語の語学力試験のスコアを受入条件に定めています。また、学内での派遣候補者選考では、語学力・学業成績・志望動機により総合的に判断します。留学先を選ぶ際には事前に情報収集し、自身の専攻領域に適したコースがあるかどうか、また履修したい講義を受けられる大学かどうかを確認しましょう。



### 交換留学の準備から帰国まで(モデルケース)

(一次募集 春学期開始)

留学時期:2023年2月~2023年11月まで

- 2021 秋 オーストラリアへの交換留学を検討  
国際教育交流課や所属学部・研究科の事務室などに相談  
現地の情報を収集し、指導教員とも相談して希望校を絞る  
IELTSまたはTOEFL iBTの受験準備を開始
- 2022 春 所属学部・研究科に学内応募用書類を提出  
学内選考に合格  
パスポートを取得
- 夏 京都大学経由で派遣先大学に出願手続き、  
海外渡航安全説明会に参加
- 秋~冬 入学許可証が届く  
住居・ビザ申請、保険・航空券の手配  
渡航届(願)提出などの学内渡航前手続き
- 2023 2月 留学開始  
オリエンテーション参加、履修登録、在留届提出などの入国後手続き  
前期開始
- 6月 期末試験
- 8月 後期開始
- 11月 期末試験  
日本に帰国
- 帰国後 京都大学で単位認定を申請



■ 学生交流協定校 (2022年12月現在)

アジア

- ブルネイ プルネイ・ダルサラーム大学
- 中国 香港中文大学/復旦大学/香港理工大学/香港科技大学/南京大学/南開大学/北京大学/上海交通大学/清華大学/香港大学/武漢大学/西安交通大学/浙江大學
- インド バラナシ・ヒンドゥー大学/インド工科大学グワハチ校
- インドネシア ガジャマダ大学/バンドン工科大学/インドネシア大学
- マレーシア マレーシア工科大学/マラヤ大学
- フィリピン フィリピン大学
- シンガポール 南洋理工大学/シンガポール国立大学
- 大韓民国 韓国科学技術院(KAIST)/高麗大学校/慶北大学校/浦項工科大学(POSTECH)/ソウル大学校/延世大学校
- 台湾 国立台湾大学/国立清華大学
- タイ チェンマイ大学/チュロンコン大学/カセサート大学/タマサート大学
- ベトナム フェ工科大学/ダナン大学/ベトナム国家大学ハノイ校

オセアニア

- オーストラリア オーストラリア国立大学/チャールズ・ダーウィン大学/アデレード大学/メルボルン大学/ニューサウスウェールズ大学/クイーンズランド大学/シドニー大学
- ニュージーランド オークランド大学/オタゴ大学

北米

- カナダ ケベック州大学学長協議会(8大学: ビショップス大学/ケベック大学高等工科大学/シュルブルック大学/ケベック大学リムスキー校/ケベック大学トロワ・リヴィエール校/ケベック大学アビチビ・テミスカミング校/ケベック大学ウタウエ校/ラヴァル大学)/コンコルディア大学/マギル大学/サイモン・フレーザー大学/プリティッシュコロンビア大学/トロント大学/ウォータールー大学
- アメリカ合衆国 アリゾナ州立大学/ジョージワシントン大学/ノースイースタン大学/カリフォルニア大学サンディエゴ校/カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校/ハワイ大学マノアキャンパス/メリーランド大学カレッジ・パーク校/ノートルダム大学/ロチェスター大学/テキサス大学オースティン校/ワシントン大学/ウィスコンシン大学マディソン

中南米

- ブラジル サンパウロ大学
- チリ チリ大学
- メキシコ モンテレイ工科大学/グアダハラ大学

欧州

- オーストリア ウィーン大学
- ベルギー ルーヴェン・カトリック大学(KU Leuven)
- デンマーク コペンハーゲンビジネススクール
- フィンランド アールト大学/ヘルシンキ大学
- フランス グルノーブル理科大学/グルノーブル政治学院/グルノーブル・アルプ大学/エコール・ノルマル・シュペリール/エコール・ポリテクニク/パリ政治学院/フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO)/パリ国立高等鉱業学校/ボルドー大学/パリ・シテ大学/ストラズブル大学
- ドイツ ベルリン工科大学/ベルリン自由大学/ゲッティンゲン大学/フンボルト大学/カールスルーエ工科大学/ミュンヘン大学/ボン大学/ハイデルベルク大学/アーヘン工科大学/ドルトムント工科大学/ドレスデン工科大学/ミュンヘン工科大学/ハンブルク大学/ミュンスター大学/シュトゥットガルト大学/ケルン大学
- ハンガリー エトヴェシュローラード大学
- アイスランド アイスランド大学
- アイルランド アイルランド国立大学ダブリン校(ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン)/ダブリン大学トリニティ・カレッジ
- イタリア ミラノ工科大学/ヴェネツィア大学/ローマ・ラ・サピエンツァ大学
- ルクセンブルク ルクセンブルク大学

- オランダ エラスムス・ロッテルダム大学/ライデン大学/マースリヒト大学/フローニンゲン大学/コトレヒト大学
- ノルウェー ノルウェー科学技術大学
- ポーランド ヤギェウォ大学
- ロシア サンクトペテルブルク大学
- スペイン ナバラ大学/マドリッド自治大学/ババルセロナ大学/ババルセロナ自治大学
- スウェーデン チャルマース工科大学/スウェーデン王立工科大学(KTH)/ストックホルム大学/ウプサラ大学
- スイス スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)/ベルン大学/ローザンヌ大学/チューリヒ大学
- 英国 キングス・カレッジ・ロンドン/ニューキャッスル大学/ロンドン大学クイーン・メアリー/ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン/パーミンガム大学/プリストル大学/ダラム大学/エジンバラ大学/エクセター大学/グラスゴー大学/リーズ大学/マンチェスター大学/ノッティンガム大学/シェフィールド大学/サウサンプトン大学/サセックス大学/ウォーリック大学/ヨーク大学

中東

- イスラエル テルアビブ大学
- トルコ コッチ大学

▶ 短期留学プログラム

学生が国際性を養い、外国語運用能力を高める機会として、さまざまな短期留学プログラムを用意しています。語学をより深く実践的に学ぶプログラムに加え、現地大学において集中講義の受講、学生交流、文化体験等を通して異文化理解を深めるプログラムもあります。主な派遣先は東アジアや東南アジア、英語圏で、プログラムの多くは本学授業期間外の8・9月や2・3月に設定されています。プログラムによっては滞在費や渡航費を本学が支援する場合があります。

Kingfisher Global Leadership Program

Kingfisher Global Leadership Programは、将来国際舞台での活躍を志す学生を対象としたアメリカへの短期留学プログラムです。約2週間にわたって米国ワシントンDCやサンフランシスコの国際的な研究機関や企業(例:世界銀行、NASA、国務省等)を訪問し、世界を股に掛けて働く「プロフェッショナル」による特別講義やディスカッションに参加することができます。様々なバックグラウンドを持つ講師による講義を聞いて、考えて、議論して、大学卒業後のキャリア形成にあたり、大いに刺激を受けることでしょう。参加した学生からは、「人生観を変えるようなプログラムだった」「将来のキャリアパスが広がった」等の声が届き、毎年好評を得ています。晴れて京大生となった暁には、こうした留学プログラムに挑戦する機会が数多く用意されています。

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/types/program2/kyoto-dc>



▶ 海外留学のための奨学金

海外留学支援制度(協定派遣)

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が実施する、留学に係る費用の一部を支援する奨学金です。本学では大学間学生交流協定に基づく交換留学や、本学が実施するいくつかの海外留学プログラムに参加する学生(外国人留学生を除く)の内、支給要件を満たす場合に申請できます。奨学金は派遣先地域により月額6万から10万円、派遣期間は1年以上です。採用人数が限られており、大学間学生交流協定に基づく留学生の場合、希望者の中から選考して受給者を決定します。その他の海外留学プログラムの場合、参加者募集の際に案内します。

その他の奨学金

京都大学の学生を対象とする奨学金が募集された場合は、本学ホームページで随時紹介しています。また、日本学生支援機構(JASSO)にも海外留学に向けた奨学金があります。さらに、同機構のホームページでは外国政府や地方自治体、民間団体からの海外留学向け奨学金が検索できます。

※掲載の情報は2023年度現在のもので、2024年度については詳細未定です。

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/scholarship>



→ <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



京都大学に在籍する留学生たちの交流ひろば  
留学生ラウンジ「きずな」

京都大学に在籍する留学生の相互交流の促進、留学生と日本人学生や教職員との交流を目的としたスペースです。館内には自主学習や語学交換などができるサロンをはじめ、日本語学習者用の図書室などがあります。毎月イベントを開催し、交流のきっかけを提供しています。

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna>



# 卒業後の進路とキャリア支援

同じ目線で寄り添いながら、ときに励まし、ときに助言し、それぞれの「輝く場所」へと誘います

京都大学の学部卒業後の進路は、民間企業への就職はもとより、大学院への進学、公務員、起業など、数多くの選択肢があります。

京都大学は学生それぞれが学生生活のなかで将来を考え、納得して進路を選択できるように、さまざまな支援をしています。



<https://www.career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

## ▶ キャリアサポートセンターの就職支援

### ガイダンス・セミナーの開催

進路を考え、就職活動を始めるうえで知っておいてほしい基本的な心がまえや知識を身につけるガイダンスと、一人ひとりの進捗や状況にあわせて受講するセミナーを開催しています。

#### ■2023年度に開催する行事

- ・キックオフガイダンス
- ・秋の就職活動ガイダンス
- ・博士キャリアガイダンス
- ・キャリアセミナー
- ・実践セミナー(エントリーシート、集団面接、グループディスカッション)
- ・企業研究セミナー など

### 就職相談室・相談

学生総合支援機構所属の経験豊富な相談員が学生一人ひとりの就職や進路の相談に対応します。相談は1回45分、原則予約制です。

#### ■相談内容の例

- ・作成したエントリーシートに助言がほしい
- ・面接の練習がしたい
- ・進学か就職、民間企業への就職か公務員かで迷っている
- ・企業選びに迷いがある
- ・就職活動が思うように進まない
- ・複数の内定があるが、最終的に決める際のアドバイスをほしい

### 京都大学キャリアフォーラム (学内合同企業説明会)の開催

京大生を採用したい企業・団体との交流の場

として「京都大学キャリアフォーラム」を開催しています。

#### ■2023年度に開催する京都大学キャリアフォーラム

##### ・博士・PD対象京都大学キャリアフォーラム

対象:博士課程在籍者および修了者  
開催日:2023年11月予定

##### ・京都大学キャリアフォーラム

対象:2024年度卒業・修了予定者  
開催日:2024年3月1日、2日、3日予定

### マッチングサイト

学生と企業・団体がお互いの理解を深め、就職につなげていくサイトです。インターンシップやセミナーなどの京大生向けイベントに応募したり、学生から企業・団体へ個別コンタクトを希望したりすることもできます。

また、博士学生は求人に応募したり、企業からのオファーを待つこともできます。利用には登録が必要です。課程・学年により利用できる内容が異なります。

### 求人情報およびインターンシップ情報の公開

#### ■求人情報の公開

自由応募の求人票は、マッチングサイトおよび「求人情報検索システム」(キャリアサポートセンターのホームページからアクセス可・学内限定)で公開しています。なお、私立学校の教職員募集、公務員採用試験(公立学校の教員含む)、留学生対象の求人票で日本語以外の表記のものは紙面で公開しています。

※学校推薦の求人票は各学部・研究科で公開されます。

### ■インターンシップの情報公開

大学で応募の取りまとめをするインターンシップについてはキャリアサポートセンターのホームページおよび KULASIS に公開し、学生課就職支援掛が取り扱います。また、学生が自由に応募できるインターンシップの情報は、マッチングサイトおよび「求人情報検索システム」で公開しています。

### 卒業生名簿の閲覧

企業等で活躍する卒業・修了者の名簿が閲覧できます。卒業生名簿を提供してくださっている企業等の一覧はマッチングサイトで確認できます。

### 書籍やDVDの閲覧・借出

業界地図や四季報、適性試験・面接対策の書籍を豊富に揃えています。1週間で3冊まで借りることができます。

このほかにも、就職活動記録の公開(センター内限定)などを通して、京大生の就職活動を支援しています。

→ キャリアサポートセンター

TEL.075-753-2483



#### ■京都大学吉田キャンパス

キャリアサポートセンター(旧石油化学教室本館1階)

TEL. 075-753-2483 FAX. 075-753-2484

〒606-8501 京都市左京区吉田本町



#### ■桂キャンパス就職資料スペース

卒業生名簿の閲覧、就職関連書籍の貸出、就職活動記録の閲覧、国家総合職・一般職の過去問題の閲覧・コピーは就職資料スペースでも行うことができます。



#### ■宇治キャンパス就職資料スペース

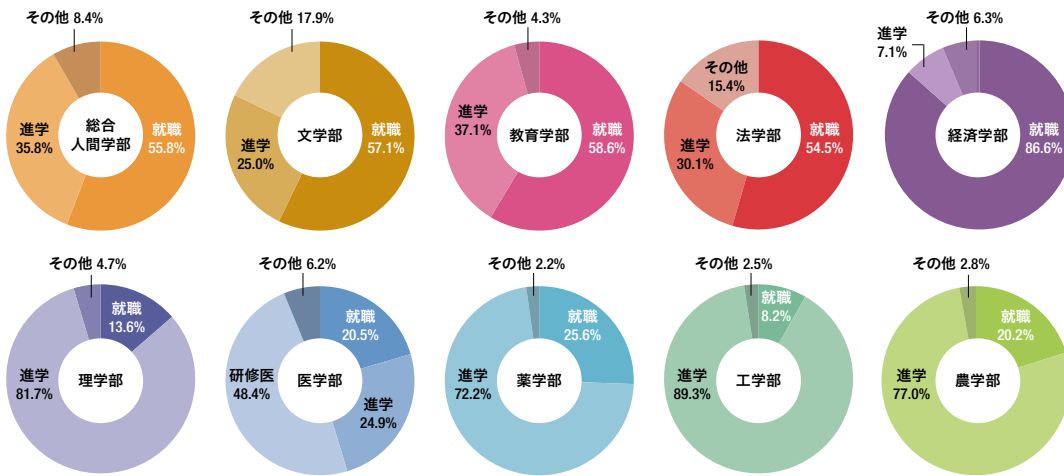


キャリアサポートセンター オープンスペース

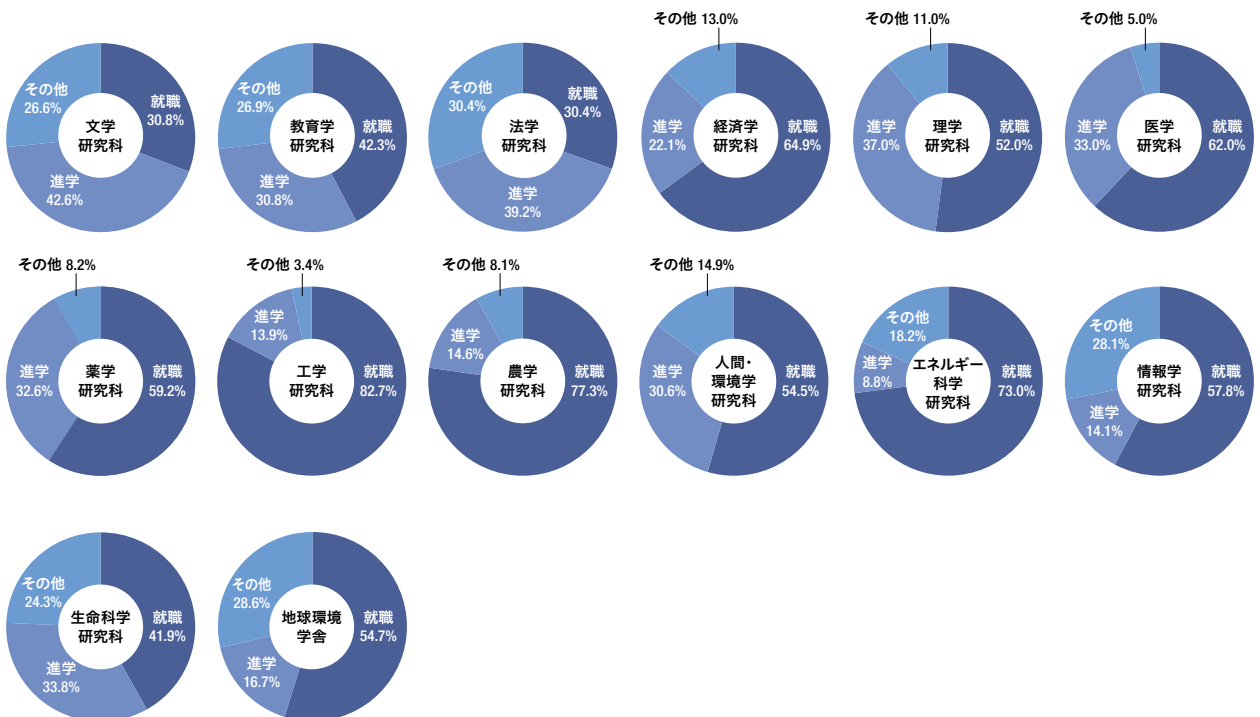


イベントの様子

■ 2022年度学部卒業者の進路



■ 2022年度修士課程修了者の進路





# 生活サポート

きめこまやかな制度と相談・支援体制を整えて  
学修・研究活動の礎となる日々の暮らしをサポートします

## 経済的に修学が困難な学生の支援

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition>



経済的な理由によって修学を断念することがないように、大学が経済的にサポートします。おもな支援には、2020年度から実施されている「高等教育の修学支援新制度(給付奨学金+入学金・授業料の減免)」のほか、「奨学金制度」の案内や「小口短期貸付」の受付、「京都大学基金緊急支援一時金」の支給などがあります。

### ■高等教育の修学支援新制度

2020年度より、国の施策により、給付奨学金の拡充および新しい授業料免除制度が実施されています。高等教育の修学支援新制度は以下の2つの支援からなります。

- ・給付奨学金(原則返還が不要な奨学金)
- ・授業料等の減免(授業料と入学金の免除又は減額)

この制度による支援を受けるには、まず日本学生支援機構(JASSO)の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。採用された給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額も決定されます。給付奨学金の申請にかかる条件等については、日本学生支援機構(JASSO)のHP上で確認してください。

→ **教育推進・学生支援部 学生課奨学掛**  
TEL.075-753-2532(授業料免除担当)

### ■奨学金制度

経済的な理由で修学が困難になったものの、学業優秀と認められる人に対しては、願い出に基づいて奨学金を貸与します。

### ・日本学生支援機構奨学金

※以下は返還の必要がある貸与型奨学金の説明です。返還の必要がない給付型奨学金については、上記の「高等教育の修学支援新制度」をご覧ください。

高等学校等在学時に申請し採用候補者となった人が大学入学後の必要な手続きをへて採用される「予約採用」と、大学入学後に申し込み採用される「在学採用」の二つの申請方法があります。さらに、1年次には入学時特別増額貸与奨学金(10万円から50万円)の制度があります。

※**第一種奨学金(無利子)貸与月額**  
自宅通学者 20,000円、30,000円、45,000円  
自宅外通学者 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円  
給付型奨学金と併せて貸与を受ける場合、調整されます

※**第二種奨学金(有利子)貸与月額**  
20,000円～120,000円(10,000円ごと)

→ **奨学掛** TEL.075-753-2535・2536  
(日本学生支援機構奨学金担当)

・**地方公共団体奨学金および民間団体奨学金**  
上記のほかにも、「地方公共団体奨学金」をはじめ、公益財団法人や一般財団法人等の出資による「民間団体奨学金」など、多様な奨学金制度があります。「地方公共団体奨学金」には、大学推薦以外に、都道府県市区町村の教育委員会が取り扱うケースも少なくありません。出身地の教育委員会などで確認してください。

→ **奨学掛** TEL.075-753-2495・2481  
(民間奨学金担当)

### ■小口短期貸付

病気や不慮の事故、家庭からの送金の延着、そのほかの急な出費に対して、最高5万円まで、無利子の短期間(1～3か月以内)貸付を実施しています。

→ **奨学掛** TEL.075-753-2495・2480

### ■京都大学基金緊急支援一時金

学資負担者が亡くなられた場合などの緊急時に、当該事由が発生した日から3か月以内の申請に対して、修学・生活を支援する「一時金(25万円)」を給付します(返済不要)。

→ **奨学掛** TEL.075-753-2495・2480

## 障害のある学生へのリソース提供(相談・支援)

京都大学では、障害(社会的障壁/Disability)により、学生生活をおくるうえで支援や配慮を必要とする学生の相談に応じています。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、精神障害、その他疾病や一時的な怪我などのために支援や配慮を必要とする方は、所属する学部やDRC(障害学生支援部門)にご相談ください。なお、受験上の配慮を希望される場合は、相談の内容によっては協議に時間を要することがあります。出願前のなるべく早い時期に、志望する学部の教務窓口にご相談ください。

→ **各教務窓口は67ページ参照**

■**学生総合支援機構 障害学生支援部門(DRC)**  
障害のある学生の相談・支援の充実と全学的な支援の拠点となることを目的としてDRC(障害学生支援部門)を設置しています※。

DRCでは、障害により、学修上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、学修・研究上の

必要に応じた修学支援(教育上の合理的配慮)を行っています。原則として、学生本人からの申し出を受けて、所属学部・研究科等や関係部局の教職員と連携しながらリソースの提供(相談・支援)を進めます。主な内容は、情報保障、移動介助等や必要となる物品の貸出、施設・設備の整備などです。

また、DRC内の交流スペースは、障害のある学生と支援に携わる学生サポーター、教職員たちの交流の場として開室時間内で開放しています。入学後、気軽に利用してみてください。

→ **吉田キャンパス本部構内**  
教育推進・学生支援部棟1階(旧石油化学教室本館)  
開室時間 9:00～17:00(月～金・祝日を除く)  
TEL. 075-753-2317  
FAX. 075-753-2319  
E-mail. drc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp



DRC(障害学生支援部門)の交流スペース

→ <https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/drc>



※DRCには、室長(教授・兼任)、チーフコーディネーター(准教授)、コーディネーター、テクニカルスタッフ、専門スタッフ、支援スタッフ、事務スタッフが所属しています。



車椅子用のスロープ



構内に設置された点字ブロック

## ▶ 定期健康診断と軽度のケガに対する応急手当

### ■健康管理室

健康管理室は、吉田キャンパス本部構内の正門に入って左側にあるレストラン「カンフォア」の西側建物の1階にあります。学生生活での健康管理に役立てていただくため、健康管理室では4月に吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパスを巡回しながら定期健康診断を実施しています。また、就職用・奨学金免除についての健康診

断書の発行や軽度のケガに対する応急手当がうけられます。

桂・宇治の各キャンパスにある分室(看護師のみで、医師は常駐していません)でも、応急手当が必要な場合は対応します。

なお、一般診療(病気の治療)は行っていませんので、近隣の医療機関をご利用ください。

→ TEL.075-753-2404 (受付)

→ <http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>



### 学生総合支援機構 学生相談部門 学生相談センター

京都大学に籍を置く学生のための、総合的な相談機関です。キャンパス内の5か所に設けられた相談室で、修学上・研究上の問題、進路について、性格について、人間関係についてなど、さまざまな相談に応じています。学生相談センターには心理相談、就職相談の専門スタッフ及び精神科医が常駐しております。入学後、もし困った事が生じたとしても、安心してご相談いただけます。

→ <https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/>



→ 吉田相談室(吉田キャンパス本部構内教育推進・学生支援部棟(旧石油化学教室本館)2階)  
開室時間 9:00~17:00(月~金・祝日を除く)  
TEL.075-753-2596  
E-mail. yoshida-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

→ 北部相談室  
(吉田キャンパス北部構内 旧演習林事務室内)  
開室時間 9:00~17:00(月~金・祝日を除く)  
TEL.075-753-2587

E-mail. hokubu-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

→ 吉田南相談室(吉田南構内 楽友会館1階)  
開室時間 9:00~17:00(月~金・祝日を除く)



TEL.075-753-2547  
E-mail. yoshidaminami-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

→ 桂相談室(桂キャンパス Bクラスター 船井交流センター3階)

開室時間 9:00~17:00(月~金・祝日を除く)  
TEL.075-383-7317  
E-mail. katsura-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

→ 宇治相談室(宇治キャンパス 生協会館2階)  
開室時間 9:00~17:00(月~金・祝日を除く)  
TEL.0774-38-4554  
E-mail. uji-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

## ▶ そのほかの生活サポート

### ■学生保険

学生教育研究災害傷害保険(学研災)という学生保険があります。これは正課の授業中や大学の行事中、課外活動中、およびこれらに伴う通学中等の事故により、学生が被った傷害に適用される保険であり、学生生活を送るさいに重要な役割を果たします。また、これら活動中(一部除く)に学生が法律上の損害賠償責任を負うことで被る対人・対物の損害を対象とした学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)、日常生活全般での損害賠償責任をカバーする大学生協があつかう学生賠償責任保険(学賠)もあります。京都大学では原則として、入学にさいして、日本人学生は学研災・付帯賠償に、留学生は学研災・学賠に全員が加入することになっています。

→ 教育推進・学生支援部 厚生課厚生掛

TEL.075-753-2539

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Insurance>



→ 京大大学生生活協同組合 組合員センター  
TEL.075-771-6211

→ [https://www.s-coop.net/service/stu\\_insurance/mandatory/](https://www.s-coop.net/service/stu_insurance/mandatory/)



### ■学生寄宿舍

京都大学の学生寄宿舍の詳細は、大学ホームページをご覧ください。以下の担当部署にお問い合わせください。

→ 厚生掛 TEL.075-753-2540

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Life>



### ■下宿・アパート等の紹介

京大大学生生活協同組合が下宿やアパート、マンションなどを紹介しています。

→ 京大大学生生活協同組合「時計台住まい事業店」  
TEL.075-771-0823

→ <https://www.s-coop.net/service/life/looking/>



※桂・宇治地区の物件も紹介しています。

### ■アルバイトの紹介

大学からはおもに、祭礼行列員、官公庁でのアルバイトを紹介しています。京都の三大祭(葵祭、祇園祭、時代祭)をはじめ、伝統行事の行列に加わるアルバイトは、学生生活のよき思い出になります。官公庁でのアルバイトには、税務署での確定申告に関する補助業務などがあります。そのほか一般のアルバイトは京大大学生生活協同組合で紹介しています。

→ 厚生掛 TEL.075-753-2539

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/work>



→ 京大大学生生活協同組合  
コンベンション・サービスセンター  
TEL.075-753-7655

→ <https://www.s-coop.net/service/job/student/>



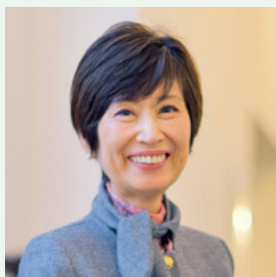
# 男女共同参画推進センター

ジェンダーにとらわれることなく、  
学生・教職員が自身の能力を發揮できる環境づくりに取り組んでいます

京都大学の自由な討論と多様性に開かれた学風をさらに発展・深化させ、  
人類の幸福に寄与する学問の発展に貢献できるように  
現代社会の課題のひとつである男女共同参画(ジェンダー平等)のモデルとなる大学づくりを進めています。



<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>



センター長  
稲垣 恭子(理事・副学長)

## ジェンダー平等やダイバーシティの推進をめざして

グローバル化が進む中で、ジェンダー平等やダイバーシティの推進はますます重要になっています。男女共同参画推進センターは、女子学生・女性研究者のみならず、次世代を担う学生・研究者の多様な生き方を後押しし、新しい価値の創造に貢献することをめざしています。

学生生活・研究生活には楽しいこともあれば、困難にぶつかることもあると思います。センターでは、

学業や研究への意欲が途切れないように、研究・実験補助、育児・介護等の支援のほか、さまざまな相談に対応するメンター制度を設けています。

また、女子高校生向けに、大学生活や将来のキャリア等について本学の学生や教員と直接話し合えるフォーラムを開いています。各界で活躍する卒業生のインタビュー記事(動画)もホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

### ▶ 京都大学優秀女性研究者賞「たちばな賞」

京都大学では2008年に「たちばな賞」を創設し、人文・社会科学または自然科学の各分野において、優れた研究成果を挙げた女性研究者(研究者部門・学生部門)を顕彰しています。後進の励みとなるだけでなく、次代を担う優れた女性研究者の育成に結びつくことを期待しています。

### ▶ 性差・ジェンダーに関する授業

全学共通科目(人文・社会科学科目群、少人数教育科目群(ILASセミナー))に2科目を開設し、性差やジェンダーに関する正しい知識の提供と意識づけに努めています。

#### ■全学共通科目 人文・社会科学科目群

「ジェンダー論」

担当教員:川島 隆(文学研究科)

吉田万里子(国際高等教育院)

#### ■全学共通科目 ILASセミナー

「ジェンダーと文学」

担当教員:川島 隆(文学研究科)

### ▶ 女子高生・車座フォーラム

毎年「京都大学を知ろう・研究者と語ろう」をテーマに、女子高校生をキャンパスに招いて語りあう「女子高生・車座フォーラム」を開催しています。女子高生から寄せられる質問に答えながら、学生生活やその分野を選んだ理由、大学卒業後の進路、研究の面白さと苦労など、女子学生と女性研究者たちが自身の経験をもとに本音を語ります。

### ▶ 保育のサポート

京都大学には大学院や医学部附属病院をふくめ、子育てに向きあう教職員や学生が少なくありません。そのサポートとして、次のような事業に取り組んでいます。

#### ■病児保育室こもも

医学部附属病院内に病児の子どものための保育室「こもも」を設置。教職員・学生が利用しています。

#### ■待機乳児の保育室

自治体保育所への入所を待つ乳児のための保育室を男女共同参画推進センター内に設置。保護者に代わってシッターが子どもを迎えに行く「おむかえ保育」も実施しています。

### ■学童保育施設の設置(予定)

学内のリソースを活用したプログラムを提供する学童保育施設の開設を予定しています。

### ▶ ジェンダー平等を推進していく 四つの取組を、四つの専門部会を軸に活動

女性教員の増加

女子学生の増加

ジェンダー平等促進の意義の共有

男女共同参画に係る体制の強化



# 学生たちの躍動

キャンパスに響く交歓の声。めぐる季節に彩られる思い出

## ■ 京都大学の1年

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新入生ガイダンス</li> <li>●紅蒨祭</li> <li>●入学式(4月7日)</li> <li>●健康診断</li> <li>●前期授業開始・履修登録</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●葵祭</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●創立記念日(6月18日)</li> <li>●創立記念行事音楽会</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●祇園祭</li> <li>●前期試験・フィードバック期間(7月24日～8月4日)</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●五山送り火</li> <li>●夏季休業(8月5日～9月30日)</li> <li>★オープンキャンパス</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●博士学位授与式</li> <li>●前期終了(9月30日)</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時代祭</li> <li>●後期授業開始・履修登録</li> <li>★特色入試出願受付開始</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●京都大学ホームカミングデー</li> <li>●11月祭(11月22日～25日)</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●能楽鑑賞会</li> <li>●冬季休業(12月29日～1月3日)</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期試験・フィードバック期間(1月24日～2月6日)</li> <li>★一般選抜出願受付開始</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●節分祭(吉田神社)</li> <li>★一般選抜(前期日程)個別学力検査</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学院学位授与式(3月25日)</li> <li>●卒業式(3月26日)</li> <li>★一般選抜合格発表</li> <li>●後期終了(3月31日)</li> </ul>	

●……京都の伝統祭事 ●……学内行事 ★……受験生のための行事

※日付が記載されている行事は2023年度の予定日です。記載の行事は、新型コロナウイルス等の状況等により変更または中止となる場合があります。また、全学的に標準となる学年暦を記載しているため、学部により時期が異なる場合があります。

## ■ クラブ・サークル活動

約180の全学公認団体(クラブ・サークル)があります

※2023年3月現在

### ■文化系サークル団体(97団体)

音楽部交響楽団/軽音楽部/音楽研究会/合唱団/グリークラブ/アカベラサークル・CRAZY CLEF/ギタークラブ/マンドリンオーケストラ/吹奏楽団/リコーダー同好会/E.M.B.G./軽音サークル・こんべいとろ/軽音サークル・ZETS/民族舞踊研究会/舞踏研究会/アマチュアダンスクラブ/観風会/アンブラグド/エレクトーンサークルKUES/アンサンブルリード/Egoistic Dancers/劇団ケツペキ/映画文化研究会/シネマ研究会/雪だるまプロ/漫画研究部/アニメーション同好会/創作サークル「名称未定」/美術部/陶芸部/写真部/書道部/能楽部観世会/能楽部宝生会/能楽部金剛会/能楽部狂言会/心茶会/落語研究会/囲碁部/奇術研究会/将棋部/かるた会/デジタル写真サークル Digi \* Photo/京大短歌/CROSS STITCH/京大漫トロビー/京都大学華道部/京都大学コントラクトブリッジクラブ/京都着物企画/キリスト者学生会/聖書研究会/古典に学ぶ会/原理研究会/クイズ研究会/RPG研究会/SF・幻想文学研究会/唯物論研究会/コリアン学生の集い/歴史研究会/地理同好会/鉄道研究会/天文同好会/粋な科学の会/生物科学の会/ころぼっくる/野生生物研究会/都市公害問題研究会/環境サークル・エコみっと/機械研究会/E.S.S./エスペラント語研究会/児童文学研究会・紙風船/点訳サークル/手話サークル/グッドサマリタソククラブ/さいもんめ/現代社会研究会/刑事法研究会/探検部/有機農業研究会/きのこじき/自然農法研究会/ローバースカウトクラブ/農業交流ネットワーク/国際ビジネス研究会/庭満喫サークル浴楽/マイコンクラブ/ユネスコ学生クラブ/推理小説研究会/考古学研究会/フェミニズム研究会/KUBS京都大学放送局/西部講堂連絡協議会/文化サークル連合会/11月祭全学実行委員会/京都大学新聞社/生協学生委員会

### ■体育会所属の運動部及び応援団(53団体)

合気道部/アイスホッケー部/アーチェリー部/アメリカンフットボール部/居合道部/ウインドサーフィン部/ウェイトリフティング部/カヌー部/空手道部/弓道部/グライダー部/剣道部/硬式庭球部/硬式野球部/ゴルフ部/サイクリング部/サッカー部/山岳部/自転車競技部/自動車部/柔道部/準硬式野球部/少林寺拳法部/水泳部/スキー競技部/スピードスケート部/相撲部/ソフトテニス部/ソフトボール部/体操部/卓球部/馬術部/バスケットボール部(男子・女子)/バドミントン部/バレー部/バレーボール部(男子・女子)/ハンドボール部/フィールドホッケー部/フィギュアスケート部/フェンシング部/フットサル部/ボウリング部/ボート部/ボクシング部/ヨット部/ライフル射撃部/ラクロス部(男子・女子)/ラグビー部/陸上競技部/応援団

### ■体育会に所属していない体育系団体(31団体)

散策の会/オリエンテーリングクラブ/ワンダーフォーゲル部/フリークライミングクラブ/硬式庭球同好会・フリーク/テニスサークル・KIDDY KIDS/テニスサークル・フレームショット/ソフトテニスサークル/テニスサークル・JUST OUT/T.C.T/スキー同好会・スノーパンサー/飛翔会/持久走同好会/バスケットボールサークル・フリークラブ/バスケットボールサークル・L.E.D./バレーボールサークル・JUSTICE/天の武産合気道同好会/ソフトボール同好会・プレッシャーズ/卓球同好会 SMASH×SMASH/バドミントンサークル・レモンスカッシュ/アウトドアサークル・DOWN HILL/鳥人間チーム Shooting Stars/ブーメランサークル/鹿島神流武道部/アイアンマンスクール(トライアスロンサークル)/カーリングサークル/べんた(テニスサークル)/サニーロードチャリダー/スキューバダイビングサークル MARINE SNOW/空手同好会/軟式野球同好会ウッドストック

### ■課外活動施設

北部構内グラウンド/北白川スポーツ会館/馬場/吉田南構内グラウンド/テニスコート/総合体育館/プール/バレーコート/弓道場/アーチェリー場/相撲場/ラグビーグラウンド など

### ■学外の施設

白浜海の家/志賀高原ヒュッテ/笹ヶ峰ヒュッテ など